

ハラスメント防止委員会企画講演

性の多様性に関する施策調査を踏まえ大学のあり方と直面する課題

話題提供：風間 孝#（中京大学）

指定討論：金子雅臣（職場のハラスメント研究所）

司会：芳川玲子（東海大学）

キーワード：性的多様性，施策調査，直面している課題

【 企画趣旨 】

日本教育心理学会は学会に関わる全ての人の基本的人権や尊厳を守るため 2011 年 5 月にハラスメント防止委員会を設置し活動をしてきた。その主要な活動の一つにハラスメント予防のための啓発があり，その一環として毎年の総会開催において，ハラスメント防止委員会企画の講演会，シンポジウムを開催してきた。講演会，シンポジウムの企画にあたっては，社会の流れに目を配りつつ，今何を求められているかについて委員会内で意見が交わされ，内容が決定される。

第 64 回総会のハラスメント防止委員会企画について，委員会メンバーが討議を重ねた結果，最近何かと話題になっている性の多様性について焦点を当てることになった。

教育現場における性の多様性については，文部科学省が 2015 年 4 月に「性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細かな対応の実施等について」を各都道府県教育委員会に通知し，性同一性障害のある児童生徒への対応の実施にあたっての具体的な配慮事項を示したところから始った。大学等の高等教育機関における性の多様性については 2018 年 12 月，日本学生支援機構が教職員向けの啓発資料として「大学等における性的指向・性自認の多様な在り方の理解増進に向けて」を発行している。しかし，果たして各大学において，性的な多様性についてどの程度学生や教職員に認識されており，必要な配慮がなされているのか，また今後はどのような組織的な対応が必要なのかについていま一つ曖昧のままになっている。

今回は長年に渡り性的な多様性について研究を行い，「大学における性的指向・自認 (SOGI) に関する施策及び取り組みに関する全国調査」を実施したグループのリーダーである中京大学の風間孝氏に講演をお願いした。また，指定討論者として本委員会の専門委員の金子雅臣氏（職場のハラスメント研究所）にご登壇いただく。このシンポジウムを通して，大学の課題と今後の対応について幅広い議論を展開していきたい。